



## 第 26 回例会報告 (2月1日)

## 【出席報告】

・会員数 50名  
 ・当日出席率 84.78%  
 ・出席数 39名  
 ・前々回修正出席率 100%  
 ・欠席数 11名

<欠席会員>平尾、平田、木村、吉良、河野、岡本、坂本

〔免除会員〕青野(明)、檜垣(巧)、光藤、白石

<1/18 欠席補填>(1/16 松山)吉良、岡本 (1/22 今治北)平田、冠、木村、小堀、近藤、河野、松木(久)、村上(裕)、尾越、越智、八木(伸) (1/27 ライラ)阿部 (1/30 今治南)眞鍋

◇グエン・ティ・タオ・リーさんスピーチ・来週からベトナムへ今年度2回目の帰省、5年ぶりに旧正月を家族と迎えられる、とても嬉しいです。いよいよ3月からは就活。その中で勉強がまだまだ足りないこと、し続けることがいちばん大事だと気づきました。

◇会長報告・米山記念奨学会より西本会長へ米山功労者感謝状が届きましたので贈呈しました。

◇幹事報告・2月22日(木)19時より、和風レストラン笹にて別府会員の歓迎会を開催します。

◇親睦活動委員会・誕生日スピーチ・越智大輔会員(46歳):子どもの頃は誕生日が1日違いの父と一緒に祝いをしてもらっていました。と言っても皆さんご存じのように父は洒落たことが苦手。ですからケーキとかはなく、家族で食事に行くぐらいでした。そんな過去に思いを馳せながら、今年も頑張っています。ご指導よろしくお願ひします。

## 米山記念奨学委員会アワー

◆米山記念奨学生 ダム・ティー・フェン・チャン様『日本と私』:ベトナムでは姓/ミドルネーム/名の順に並び、子どもは父方の姓を名乗り、女性が結婚しても姓は変わりません。ミドルネームに「ティー」がついたら女性、「ヴァン」とか「クワン」は男性。私が生まれたのはベトナム戦争が終わったばかりの頃。農家で両親は貧しく、小さい頃は食べるものがなくてニョクマムだけを食べたこととか、小学校の学費が納入日に払えなくて泣いた思い出もあります。▼2008年に高校を卒業、大学に合格しましたが日本へ留学するためにホーチミンの日本語学校に入学、2010年3月まで日本語で数学、化学、物理を学びました。その後2年間、福山YMCA国際ビジネス専門学校で日本語を学びつつアルバイトに励み、2012年に愛媛大学工学部応用化学科に進みました。そして2016年から現在の愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻反応有機研究室で修士課程を履修しています。▼8年前、降り立った広島空港はとても寒く、持ってきた6万円は家賃や生活費、自転車や電子辞書を買ったりですぐになくなりました。学費を貯めるためのアルバイトを自分で探そうにも日本語がおぼつかず、2か月間は働けませんでした。トラブルがあると差別だと感じて寂しい思いもしました。ストレス発散は話すこと、聞いてもらうこと。しかし電話代が高く、ベトナムの両親や友達には相談できません。それでも狭い家で一緒に暮らした6人の学友など周囲の心が温かく、多くの応援をいただいて楽しい思い出もたくさんできました。2011年8月には仙台YMCAに宿泊し、南三陸町や女川町でボランティア活動に従事。ほんの少しでしたが、人は支え合って生きていることを学びました。思いを一つにすることを体験し、少し成長することができたと思います。▼研究室ではナスに試薬を混ぜ、その反応を見る実験をしています。実験は夜の10時11時までかかることも普通。土曜日には化合物に試薬を混ぜてゴミを単離する「カラムクロマトグラフィー」のセミナーも行われています。修士論文のテーマは「機能性ホスフィニンの開発と応用」。さまざまなイオンや化学種の検知に用いる化学センサーとしてホスフィニンを開発しています。▼昨年3月から就職活動をして、6月末に医療機器メーカーのニプロ株式会社から内々定をいただきました。10月に行われた内定式、秋田県大館市でのインターンシップを経て、4月からタイの工場で研修、そして2019年からはホーチミンに新工場ができる予定の「ニプロベトナム」で働きます。ご清聴ありがとうございました。

<ゲスト>米山記念奨学生 ダム・ティー・フェン・チャン様、グエン・ティ・タオ・リー様

<ビジター>今治北RC 森光孝様<普通銀行>

## 次回例会(2月8日)

## 【IM報告】

<会員誕生日祝> 松木 久和氏 (2/9)  
 <配偶者誕生日祝> 渡辺 易廣氏 (2/9) 宮道 勝敏氏 (2/12)  
 <結婚記念日祝> 越智 大輔氏 (2/10) 白石 洋治氏 (2/11)

[ 笹 ]